

## 内房小家庭学習のすすめ

R 6. 2 改訂

## 【家庭学習のねらい】

- ・学習の習慣を身に付ける。【全ての宿題】
- ・基礎的な学力を身に付ける。

- ・自分の得意を伸ばし、不得意を克服する。【書取・計算・本読み】
- ・自分の得意を伸ばし、不得意を克服する。【自主勉強】

- ・家庭学習で身に付いたことを授業に生かしたり、授業で学んだことを日常生活に生かしていく。

## 【家庭学習の目標時間】

3年生…40分      4年生…50分  
5年生…60分      6年生…70分

## &lt;筆箱の中身&gt;

- ・鉛筆6本
- ・赤青ボールペン(えんぴつ)
- ・消しゴム1こ
- ・定規1本
- ・けい光マーカー1色
- ・サインペン

※三角定規・分度器・コンパス、シャープペンを使用するときは、担任が指示します。

	身に付けたい力(それぞれのねらい)	おうちの方に見ていただきたいポイント
音読	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声に出して、正しく文を読む。</li> <li>・場面の様子や心情が伝わるように読む。</li> <li>・漢字の読みを復習する。</li> <li>・新たな言葉に触れ、意味や使い方を覚える。</li> </ul>	<p>読み方やイントネーションの間違いがあれば訂正し、正しい読みを確認してください。</p> <p>同じ教材を何度も読みます。特に物語文では、速さや間を意識したり、気持ちを込めた読みができたりした場合は、音読カードのコメントで誉めてくださると、お子さんもやり甲斐を感じると思います。</p>
計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早く正確に計算する。</li> <li>・主に、現在授業で学習している単元の、基礎的な復習をする。</li> </ul>	<p>計算ドリルのように解答がある場合は、<u>○付けをお願いします</u>。その際、分からない問題がないか確認し、あれば翌日担任に解き方を聞くよう声を掛けてくださるとありがたいです。学校では、休み時間などに、分からなかったポイントを個別に指導します。</p>
書取	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく習った漢字を、正しく書く。</li> <li>・ていねいに字を書く習慣を身に付ける。</li> </ul>	<p>簡単な字でも、うっかり間違えて覚えてままになってしまう場合があります。</p> <p>学校でも十分気を付けて見取るので、ていねいに書いているか、正しく書けているか確認し、間違いがあれば直すよう声を掛けてください。</p>
自主勉強	<p>自分の実態にあった学習をすることで、得意分野を伸ばし、苦手分野を克服する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の授業の学習内容を確認</li> <li>・はあくしておく。</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことわざ・慣用句・四字熟語の意味調べ・教材文の難しい言葉の意味調べ・漢字の使い分け(関心・感心等)・新聞記事の要約</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に学習した計算問題・文章問題1問・授業の予習</li> </ul> <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことをノートに書く。</li> </ul> <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことをもっと広げたり、詳しく調べたりする。</li> </ul> <p>【体育】・ルールを調べる。</p>	<p>お子さんが、学習する内容について迷う場合があると思います。</p> <p>ことわざ・四字熟語辞典や、下学年の漢字問題、算数の文章問題などお子さんの実態に合わせて問題集などを御用意されるのもよいでしょう。お子さんが自分で選んで自学自習できる環境を整えてくださると、スムーズに学習が進むだけでなく、中学校に向け、自分に必要な学習を判断する力が付きます。</p> <p>また、内容については学校で指導するので、お子さんの頑張りを誉め、ノートの隅にサインを書いてくださるだけでもお子さんのはげみになると思います。</p> <p>※プリントコーナーから自分に合ったプリントをえらび、自主勉強で取り組んでもよいです。</p>

